

# TANITA

## 取扱説明書

保証書付

### 黒球式熱中症指数計

(季節性インフルエンザ注意機能付)

### 熱中アラーム

TC-300

日本生気象学会「日常生活  
における熱中症予防指針」準拠



※本書に記載されている  
イラストはイメージです。

## もくじ

|                      |    |
|----------------------|----|
| ●TC-300について          | 2  |
| ●正確にはかるために           | 3  |
| ●熱中症予防指針(日本生気象学会出典)  | 4  |
| ●熱中症予防のための水分補給について   | 6  |
| ●WBGTについて            | 7  |
| ●季節性インフルエンザについて      | 8  |
| ●安全上のご注意/使用上のご注意     | 9  |
| ●各部の名称/付属品           | 12 |
| ●電池を入れる/交換する         | 14 |
| ●使いかた.1 注意レベルとアラーム種類 | 17 |
| ●表示切替方法              | 20 |
| ●WBGT設定方法            | 21 |
| ●測定範囲外の表示について        | 23 |
| ●使いかた.2 つり下げ用アタッチメント | 25 |
| ●使いかた.3 カラビナの取り付け方法  | 27 |
| ●使いかた.4 使用方法         | 28 |
| 電源を切る方法              | 31 |
| 電源を入れる方法             | 32 |
| ●故障かな?               | 33 |
| ●仕様                  | 35 |
| ●アフターサービスについて        | 37 |
| ●保証書                 | 40 |

本器について準備する

使いかた

必要なとき

## お願い

誤った使いかたをしますと、重大な事故につながるおそれがあります。  
この取扱説明書をよくお読みいただき、正しく安全にご使用ください。  
また、必要なときにはすぐに取り出せるよう、身近に大切に保管してください。

# TC-300について

- ・屋外でも室内でも使用可能

普通の温度計では、日射や地面からの照り返しによる熱(輻射熱:ふくしゃねつ)を測定できません。そのため炎天下では正確なWBGT(本書P.7参照)が求められません。

本器は黒球を搭載して日射や輻射熱を測定しているため、屋内外問わず炎天下でもWBGTを測定することができます。

- ・4種類のアラーム音で、日常生活における熱中症予防指針(本書P.4参照)の注意レベルをお知らせ

電源を入れたあと、WBGT20℃以上の場合、10分間隔でWBGTの値に応じた注意レベルのアラームが鳴ります。

(本書P.17参照)

- ・2段階のインフルエンザ対策の目安(本書P.8参照)の注意レベルをお知らせ

温度と相対湿度から絶対湿度を計算し、「注意」もしくは「警戒」を表示します。(本書P.18参照)

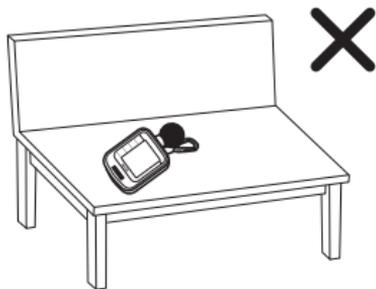
- ・電源OFF機能付き

使用しないときは電源を切ることができ、節電になります。

(本書P.31参照)

# 正確にはかるために

- ・室内  
フックなどにつり下げてご使用ください。
- ・屋外(日射時)  
腰、リュックサックなどにつり下げ、なるべく黒球が陰にならないようにしてご使用ください。
- ・長く手に持っているると体温や湿度を拾い、測定値が変わるおそれがあります。
- ・ベンチの上や地面(コンクリートや芝生の上など)に直に置いたままでのご使用はしないでください。  
※照り返しの影響で、気温は高めに、湿度は低めに評価され、正しいWBGTの計算ができません。



本器について準備する

# 熱中症予防指針(日本生気象学会出典)

## ●日常生活における熱中症予防指針

| WBGTによる<br>温度基準域  | 注意すべき<br>生活活動の目安          | 注意事項  |
|-------------------|---------------------------|---|
| 危険<br>(31℃以上)     | すべての<br>生活活動で<br>おこる危険性   | 高齢者においては安静状態でも発生する危険性が大きい。外出はなるべく避け、涼しい室内に移動する。 |
| 嚴重警戒<br>(28~31℃※) |                           | 外出時は炎天下を避け、室内では室温の上昇に注意する。                      |
| 警戒<br>(25~28℃※)   | 中等度以上の<br>生活活動で<br>おこる危険性 | 運動や激しい作業をする際は定期的に十分に休息を取り入れる。                   |
| 注意<br>(25℃未満)     | 強い生活活動で<br>おこる危険性         | 一般に危険性は少ないが激しい運動や重労働時には発生する危険性がある。              |

※(28~31℃)および(25~28℃)については、それぞれ28℃以上31℃未満、25℃以上28℃未満を示します。

※日本生気象学会「日常生活における熱中症予防指針Ver.4」(2022)より

## ●注意すべき生活活動強度の目安

| 軽い   | 中等度   | 強い  |
|--|---|---|
| 休息・談話<br>食事・身の回り<br>楽器演奏<br>裁縫<br>(縫い、ミシンかけ)<br>自動車運転<br>机上事務<br>乗物(電車・バス立位)<br>洗濯<br>手洗い、洗顔、歯磨き<br>炊事(料理・かたづけ)<br>買い物<br>掃除(電気掃除機)<br>普通歩行(67m/分)<br>ストレッチング<br>ゲートボール* | 自転車<br>(16km/時未満)<br>速歩<br>(95~100m/分)<br>掃除(はく・ふく)<br>布団あげおろし<br>体操(強め)<br>階段昇降<br>床磨き<br>垣根の刈り込み<br>庭の草むしり<br>芝刈り<br>ウォーキング<br>(107m/分)<br>美容体操<br>ジャズダンス<br>ゴルフ*<br>野球・ソフトボール* | ジョギング<br>サッカー<br>テニス<br>自転車<br>(約20km/時)<br>リズム体操<br>エアロビクス<br>卓球<br>バドミントン<br>登山<br>剣道<br>水泳<br>バスケットボール<br>縄跳び<br>ランニング<br>(134m/分)<br>マラソン |

※野球・ソフトボールやゴルフ、ゲートボールは、活動強度は低いけど運動時間が長いので要注意

※日本生気象学会「日常生活における熱中症予防指針 Ver.4」(2022)より

本器について準備する

## お知らせ

- 熱中症対策の情報(予防方法、対処方法など)については、「環境省熱中症予防情報サイト」(<https://www.wbgt.env.go.jp/wbgt.php>)を参照ください。

# 熱中症予防のための水分補給について

## ●どんなものを飲むか。

摂取する飲料の組成としては0.1～0.2%の食塩水またはナトリウム40～80mg/100mLのスポーツドリンクを20～30分ごとにカップ1～2杯(100～200mL)程度を摂取することが望ましいです。

一方、飲物の温度は5～15℃が望ましく、冷たい方が胃から小腸への移動が速く、また、冷水による物理的な冷却効果も期待できます。

## ●どれくらい飲むか。

人の身体からは、発汗だけでなく、呼吸によっても意識されずに水分が蒸発します。

よって、日中はコップ半分程度の水分を定期的に(1時間に1回程度)補給しましょう。

のどの渇きを感じる前に水分補給を心がける習慣をつけましょう。

特に高齢者はのどの渇きを感じにくくなっているため、十分注意する必要があります。

## ●こんなときにも忘れずに。

### ①睡眠時

寝ている間も呼吸や汗によって水分は失われます。就寝前と起床時にコップ1杯(約200mL)の水分補給をしましょう。

### ②飲酒時

アルコールは利尿作用が強く、飲酒量以上に水分を排泄するので、飲酒後は水分を十分補給しましょう。

### ③入浴時

入浴時は思ったよりもたくさん汗をかきます。入浴前後にコップ1杯(約200mL)の水分を補給しましょう。

### ④エアコンの部屋

エアコンを使うと室内の空気が乾燥しますので、気がつかないうちに脱水が生じます。こまめに水分補給しましょう。

※「熱中症予防のための水分補給について」は日本生気象学会発行「防ごう熱中症」の冊子から抜粋しています。

# WBGTについて

## WBGTについて

WBGT(Wet-bulb globe temperature、湿球黒球温度)とは、暑さの厳しさの程度を示す暑熱指数であり、暑さ指数とも言われています。気温だけでなく、汗のかき方に関係する湿度、日射・照り返しなどの輻射熱(ふくしゃねつ)を取り入れて計算される暑熱指数のことで、乾球温度(気温)、湿球温度(湿度に関係)と黒球温度(輻射熱)の値を使って計算します。単位は(°C)です。

### 日射のある場合

$$0.7 \times \text{湿球温度} + 0.2 \times \text{黒球温度} + 0.1 \times \text{乾球温度}$$

### 日射のない場合

$$0.7 \times \text{湿球温度} + 0.3 \times \text{黒球温度}$$

本器では、乾球温度は温度センサーで測定し、湿球温度は湿度センサーで測定した相対湿度と乾球温度より演算して求めています。黒球温度は直径33mmの黒球で測定した値より標準の直径150mmの黒球温度に換算しています。また、本器では、乾球温度(気温)と黒球温度の差を利用して「日射がある場合」または「日射のない場合」を自動で判断してWBGTを計算しています。

本器について準備する

# 季節性インフルエンザについて

本器は、季節性インフルエンザの感染予防目安をより分かりやすくするために、温度と相対湿度から絶対湿度を計算し、「注意」「警告」に当てはまる場合にお知らせします。

| インフルエンザ対策の目安 | 絶対湿度※1                                       | 空気の乾燥状態とインフルエンザの流行                     |
|--------------|--|--|
| 警 戒          | 7g/m <sup>3</sup> 以下                         | 空気が特に乾燥してインフルエンザが <b>流行しやすい状態</b>      |
| 注 意          | 7g/m <sup>3</sup> を超えて11g/m <sup>3</sup> 以下  | 空気が乾燥してきてインフルエンザが <b>流行してよい状態</b>      |
| ほぼ安全         | 11g/m <sup>3</sup> を超えて17g/m <sup>3</sup> 以下 | 空気が湿っていてインフルエンザの <b>流行はしにくい状況</b>      |
|              | 17g/m <sup>3</sup> を超える                      | 空気が大変湿っていてインフルエンザの <b>流行は非常にしにくい状況</b> |

出典

庄司眞,片山弘毅: 季節性インフルエンザの流行と絶対湿度. 臨牀と研究, vol.86, No. 11, 109(1517)-119(1527), 2009. の本文より転記, 一部編集

※1 相対湿度と絶対湿度について

相対湿度は天気予報などで使われている湿度のことで、ある温度での飽和水蒸気量(これ以上空気に溶かすことができない水分量)を100として、今は水分がどれくらい含まれているかを%(単位)で表します。それに対して絶対湿度は室温に関係なく体積1m<sup>3</sup>の空気中に含まれる水蒸気の量のことです。g/m<sup>3</sup>(単位)で表します。したがって、同じ相対湿度60%でも、15℃では絶対湿度8g/m<sup>3</sup>、25℃では絶対湿度14g/m<sup>3</sup>と異なります。

# 安全上のご注意/使用上のご注意

本書では、ご使用になる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、お守りいただきたいことを次のように説明しています。

本文をよくお読みいただき、本器を正しくご使用ください。

|   |  |   |                |
|---|--|---|----------------|
|  <b>警告</b>  | この表示の欄は「死亡または重傷 <sup>*1</sup> を負うおそれのある」内容です。                          |   |                |
|  <b>注意</b>  | この表示の欄は「傷害 <sup>*2</sup> を負うおそれまたは物的損害 <sup>*3</sup> が発生するおそれのある」内容です。 |   |                |
|  <b>禁止</b> | してはいけない「禁止」内容です。   |  <b>必ず守る</b> | 必ず守っていただく内容です。 |
| <b>お願い</b>  | 本器を最良の状態を保つために守っていただきたい内容です。   |   |                |
| <b>お知らせ</b>   | 本器の使用に関連して、お客様に知っていただきたい補足事項です。  |   |                |

※1：重傷とは失明やけが、やけど(高温・低温)、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

※2：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。

※3：物的損害とは、家屋・家財などへの拡大損害をさします。

本器について準備する

## 警告

本器は熱中症や季節性インフルエンザ感染を予防できる商品ではありません。

ご使用にあたっては仕様をご理解のうえ、熱中症、インフルエンザ注意の目安としてください。

なお、精度の誤差による二次災害については、弊社では一切の責任は負えませんのでご了承ください。

 **禁止**

- ご使用前およびご使用中に本器に異常が確認されたら使用しない  
→異常があるままご使用になると、けがや事故が発生するおそれがあります。

# 安全上のご注意/使用上のご注意(つづき)

## ⚠ 警告



- **本器や電池を加熱しない**  
→ 本器の変形や電池の発火により、けがや火災のおそれがあります。
- **乳幼児や子供の手が届くところに保管しない**  
**乳幼児や子供だけで使用させない**  
→ 電池などの小さな部品を飲み込み、窒息するおそれがあります。  
また感電やけがをするおそれがあります。

## ⚠ 注意



- **分解や改造、修理をしない**  
→ けがや感電のおそれがあります。
- **本器に強い衝撃を与えない**  
→ 本器を落とす、または本器に物を落とすなど、強い衝撃を与えないでください。  
本器が破損して、けがをするおそれがあります。
- **カラビナなどを持って振り回したりしない**  
→ 当たってけがをするおそれがあります。  
→ 破損するおそれがあります。

## 取り扱い、保管について



- **高濃度の揮発性有機化合物、酸、アルカリ、腐食性ガス、還元性ガス、シリコン、スプレーなど強いにおいのある環境下で使用、保管しない**  
→ 故障のおそれがあります。  
使用しないときはガスなどの影響を防ぐため、付属の保管袋に入れて保管してください。
- **保存環境を超える高温、低温、高湿、低湿で長時間の使用、保管しない**  
→ 正確な測定ができなくなるおそれがあります。  
保存環境を超えた状態で長時間置かれた場合は十分換気がされた、保存が可能な環境に移動して、12~24時間程度放置してから使用してください。

## 取り扱い、保管について



- 通信機能付きの機器、電磁波を発生する家電製品、および強力な電磁波のある環境では使用しない  
→本器が誤動作して電池寿命に影響を及ぼすおそれや、正確に測定できないおそれがあります。
- 電子レンジやワイヤレス通信機器、および電線、発電所、電波塔の近くなどから可能な限り遠くに離れてご使用ください。



- 十分換気をされた雰囲気で使用や保管をする

## お手入れについて



- アルコールや熱湯、シンナーやベンジンなどは使用しない  
→故障や部品の割れ・変色などのおそれがあります。  
本体の汚れは柔らかい布で拭いてください。



- ボタンの隙間や通気口などに粉塵やほこりが入り込んだときは、ほこりを吸い取るなど掃除をしてください  
→ボタンの動きが悪くなったり温度、湿度が正しく表示できなくなる場合があります。

## 防じん・防水について



- 水に浸けない、水洗いはしない  
→通気口内部のセンサーが水で濡れた場合は、乾くまでは温度・湿度が正しく測定できないことがあります。
- 電池フタが外れた状態では使用しない
- 砂やほこりなどの多いところで電池フタを開閉しない
- 40℃以上のお湯や蒸気をかけない  
→JIS規格のIP65(防じん・防水性能)を満たすよう設計されておりますが、使用状況により防じん・防水性能の維持が困難になる場合があります。  
また、破損や故障の原因になったり正しい測定ができなくなります。



- 電池フタのスライドロックはしっかりと閉じる

# 各部の名称/付属品

## 〈表面〉

黒球

表示部

通気口

熱中症  
インフルエンザ  
注意！警戒

|      |
|------|
| 危険   |
| 嚴重警戒 |
| 警戒   |
| 注意   |

TANITA

## 〈側面〉

音量切替/  
MODEボタン

## 〈裏面〉

カラビナ(付属品)

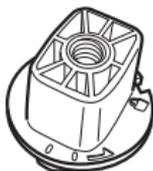
つり下げ用アタッチメント  
(付属品)

電源  
ON/OFF  
ボタン

フック

スライド  
ロック

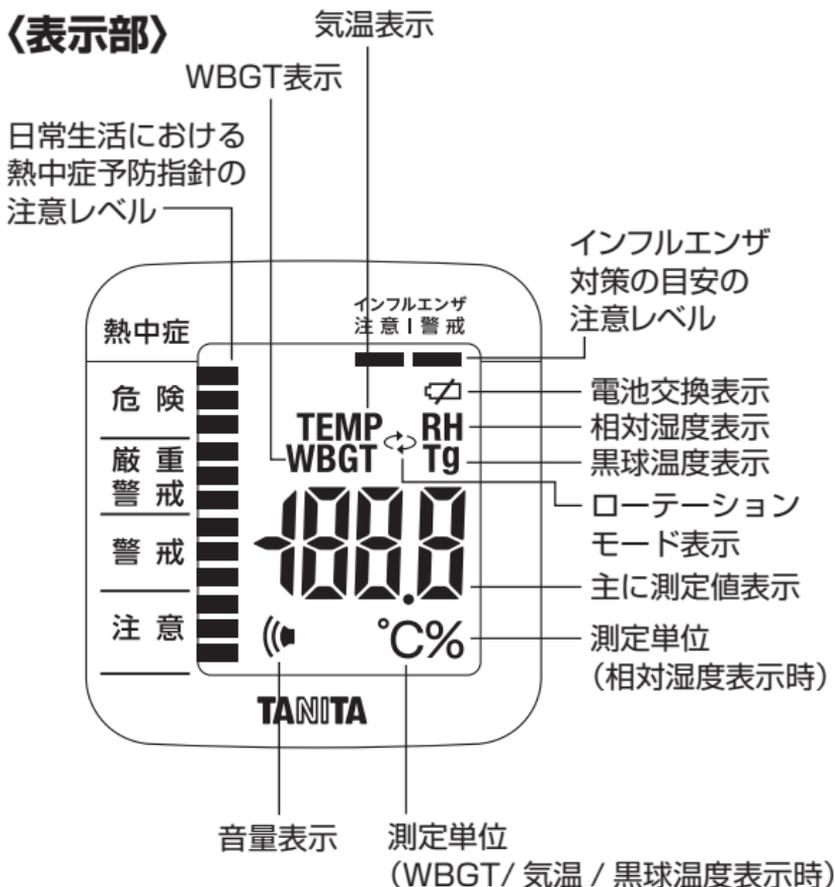
## 〈三脚取り付け用電池フタ〉



(付属品)

電池フタ

## 〈表示部〉



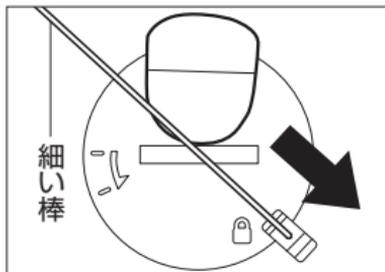
本器について準備する

## 付属品

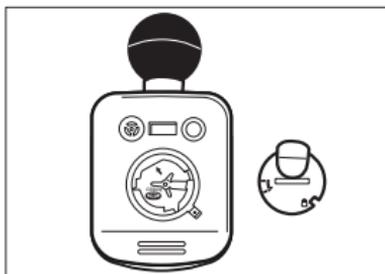
- 取扱説明書(本書)保証書付
- つり下げ用アタッチメント×1本
- カラビナ×1個
- 三脚取り付け用電池フタ×1個
- お試し用電池：CR2032コイン形リチウム電池×1個
- 保管用袋（本体梱包）

※不足しているものがありましたら、弊社お客様サービス相談室（裏表紙参照）までご連絡ください。

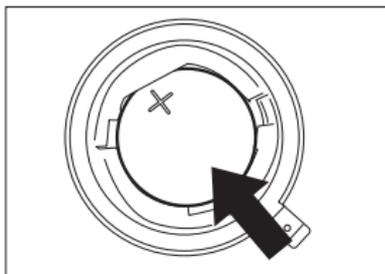
# 電池を入れる/交換する



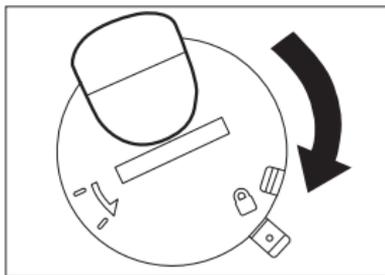
1. スライドロックのくぼみに細い棒を入れて矢印の方向に移動させる。



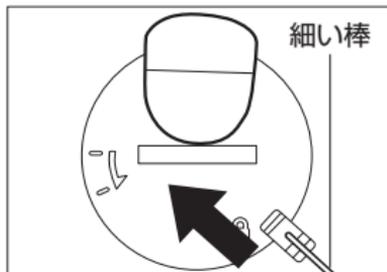
2. 電池フタをメダル形状のものを使用して外す。



3. 電池(CR2032)を⊕側を上にして、矢印の方向から入れる。



4. 電池フタを矢印の方向に回す。



5. スライドロックのくぼみに細い棒を入れて矢印の方向に移動させる。

電池が消耗すると、表示画面に「」が表示されます。速やかに新しい電池(CR2032)と交換してください。

### お知らせ

- 電池を取り出すときは細い棒などで取り出してください。
- 電池を入れると「ピ」の音とともに電源が入ります。その時の条件に合った注意レベルで表示します。

### 警告

- 電池は乳幼児の手の届くところに置かない  
→誤飲のおそれがあります。万一、電池を飲み込んだ場合には直ちに医師に相談してください。真夜中など、お近くの医師に相談できない場合は、下記へ電話して指示を受けてください。



毒性等に関するお問い合わせ先  
 (公財)日本中毒情報センター 中毒 110 番  
 (大阪)072-727-2499(24 時間対応)

# 電池を入れる/交換する(つづき)

## ⚠注意



禁止

- 指定の電池(CR2032)以外は使用しない  
→故障のおそれがあります。



必ず守る

- 電池は⊕⊖の方向を正しく入れる  
→故障するおそれがあります。  
(長期間ご使用にならない場合は電池を本器から取り外してください。)

## お知らせ

- 付属の「お試し用電池」は工場出荷時に納められたもので、寿命が短くなっている場合があります。
- 使用済み電池はお住まいの市町村区の廃棄方法にしたがってください。
- 使用済みリチウム電池を捨てる場合は、必ず端子⊕⊖をセロハンテープなど粘着性の絶縁テープで覆ってください。

# 使いかた.1 注意レベルとアラーム種類

## 日常生活における熱中症予防指針の注意レベル



電源を入れてから10分間隔でその時の注意レベル、4段階の状態にあったアラームが鳴ります。

・4段階(「注意」「警戒」「厳重警戒」「危険」)の注意レベルを12のレベルバーで表示します。

※WBGT20℃未満ではアラームが鳴りません。

| WBGTによる温度基準域 | アラームの種類                           |
|--------------|-----------------------------------|
| 危険           | 「ピーー」と3秒間連続音後2秒休止の繰り返しで約15秒間鳴ります。 |
| 厳重警戒         | 「ピーピー---ピー」約15秒間鳴ります。             |
| 警戒           | 「ピーピーピーピー」×3回約3秒間鳴ります。            |
| 注意           | 「ピーピー」と約1秒間鳴ります。                  |

※WBGTによる温度基準域:日本生気象学会「日常生活における熱中症予防指針Ver.4」(2022)準拠(本書P.4参照)

本器について準備する

使いかた

# 使いかた.1 注意レベルとアラーム種類(つづき)

## インフルエンザ対策の目安の注意レベル



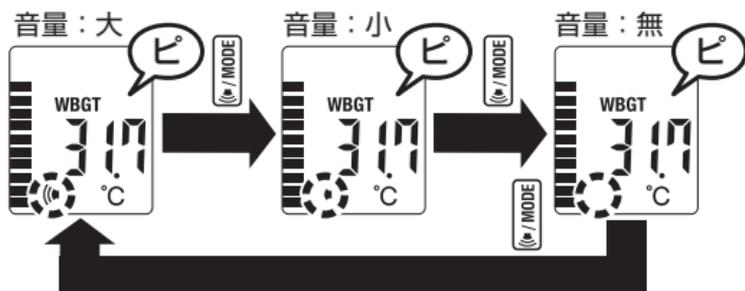
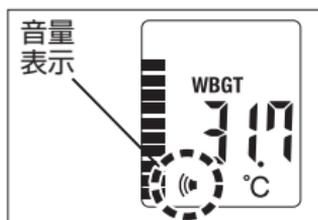
- ・アラームは鳴りません。
- ・2段階(「注意」「警戒」)の注意レベルを2つのレベルバーで表示します。(本書P.8参照)
- ・「注意」「警告」が表示されたら表示されなくなるまで温度、湿度を上げましょう。

## お知らせ

- WBGTを設定した場合は設定したWBGTを超えたときのみアラームが鳴ります。  
また、アラームの種類は「危険」のときと同じ鳴り方をします。
- 「危険」ではアラーム音量切替および「無」はできません。  
音を止めるときは電源を切ってください。
- インフルエンザ対策の目安の注意レベルバーが表示してもアラームは鳴りません。

## アラームの音量切替方法

- ・音量は「大」「小」「無」の3段階で切り替えできます。
- ・音量切替/MODEボタンを約2秒間長押しすることにより切り替わります。



- ・アラームは音量切替/MODEボタンを押すと止まります。

### お知らせ

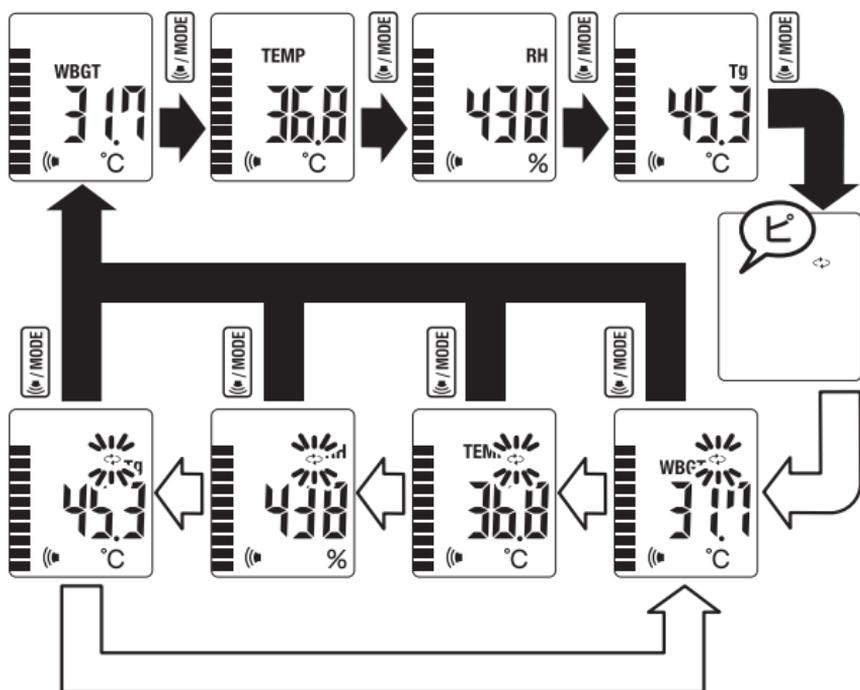
- 危険レベルになると音量「無」の設定していても音量「小」でアラームが鳴ります。
- 気温が高くなる室内や車内などに放置されると危険レベルになりアラームが鳴り続ける場合があります。  
→無人で放置される場合は電源を切ってください。(本書P.31参照)

# 表示切替方法

WBGT、気温 (TEMP)、相対湿度 (RH)、黒球温度 (Tg) の表示を切り替えて確認することができます。

- ・音量切替/MODEボタンを押して表示を切り替えます。
- ・ローテーションモードにして自動で表示を切り替えて確認することもできます。

1.各測定値表示中に音量切替/MODEボタンを押すごとに表示が切り替わる。



2.黒球温度 (Tg) 表示されているときに音量切替/MODEボタンを押すとしてローテーションモードに切り替わる。

3.ローテーションモード表示中に音量切替/MODEボタンを押すとWBGT表示に戻る。

# WBGT設定方法

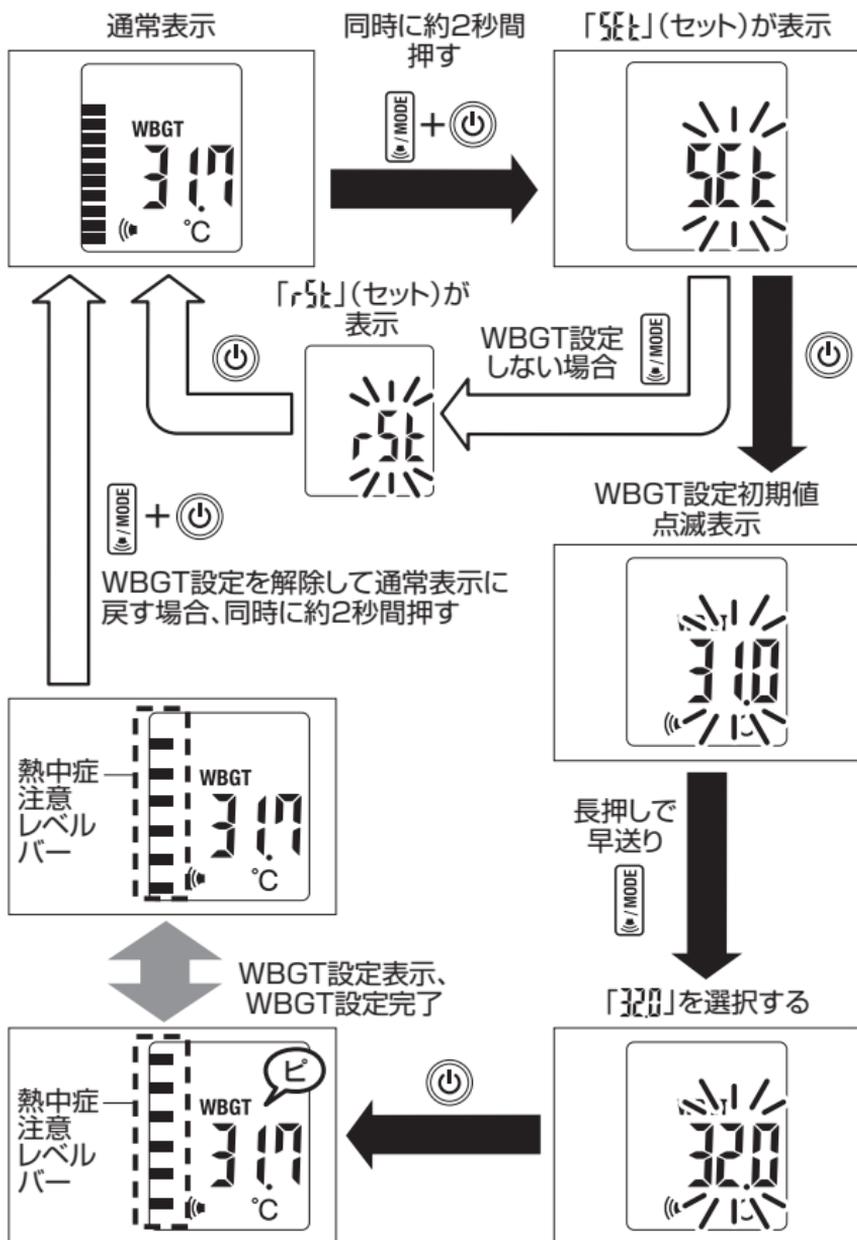
特殊な環境でご使用になる場合にWBGTの設定値を自由に  
変更することができます。

このとき、設定したWBGTを超えたときのみアラームで  
「危険」のときと同じ鳴り方でお知らせします。

- ・WBGT設定範囲は20.0～50.0℃です。
- ・WBGT設定の解除や電源を切ったり、電池を抜き差ししても、設定したWBGTは保持されます。
- ・日常生活における熱中症予防指針の4段階（「注意」「警戒」「嚴重警戒」「危険」）の注意レベルの判定は行いません。
- ・2段階（「注意」「警戒」）のインフルエンザ対策の目安の注意レベルの判定も行いません。

# WBGT設定方法(つづき)

例:32.0℃に設定する場合



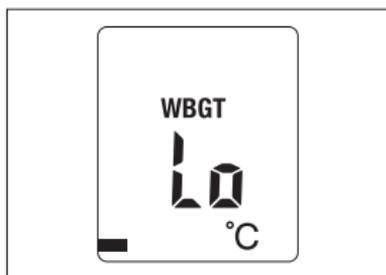
## お知らせ

- 「SET」(セット)が点滅表示してから約5秒間操作しない場合 WBGT設定が完了します。
- 「RESET」(リセット)が点滅表示してから約5秒間操作しない場合 WBGT設定を更新せずに通常表示に戻ります。

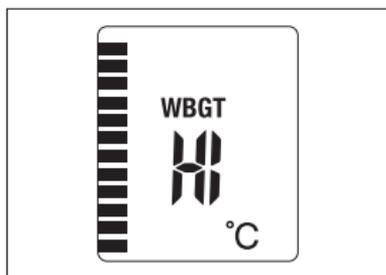
## 測定範囲外の表示について

WBGT、気温(TEMP)、黒球温度(Tg)が測定範囲外の表示について説明します。

### WBGT測定範囲外表示の場合



0.0°C未満は「Lo」が点灯する。

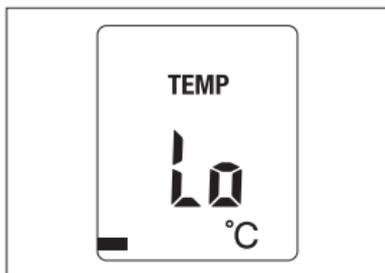


50.0°Cを超えると「Hi」が点灯する。

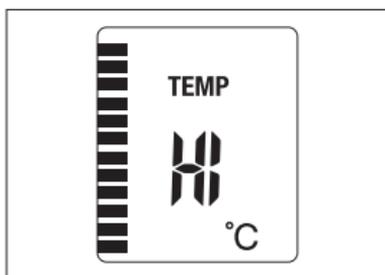
使  
い  
か  
た

# 測定範囲外の表示について(つづき)

## 気温(TEMP)測定範囲外表示の場合

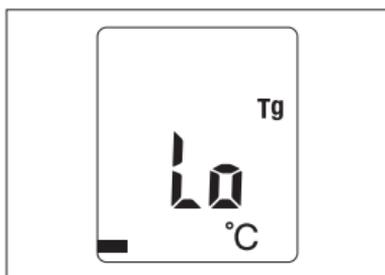


-10.0°C未満は「Lo」が点灯する。

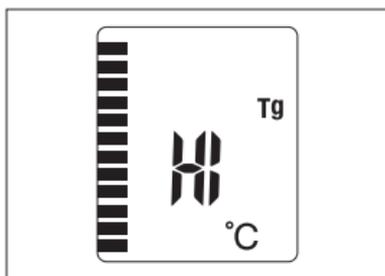


60.0°Cを超えると「Hi」が点灯する。

## 黒球温度(Tg)測定範囲外表示の場合



0.0°C未満は「Lo」が点灯する。



60.0°Cを超えると「Hi」が点灯する。

## 使いかた.2 つり下げ用アタッチメント

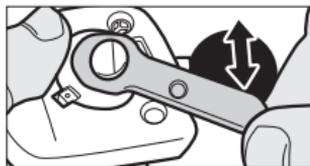
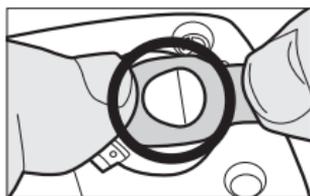
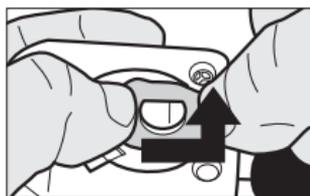
### つり下げ用アタッチメントの取り付け方法

#### ⚠注意

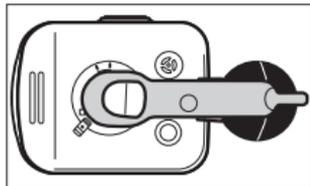
- つり下げ用アタッチメントを必要以上に引っ張らない  
→ 切れてけがをするおそれがあります。
- 電池フタのフックは付属のつり下げ用アタッチメント以外に取り付けない  
フック部分を引っ掛けて使用しない  
→ フックが破損してけがをするおそれがあります。



1. つり下げ用アタッチメントの四角い穴を電池フタのフックに合わせる。
2. 左手親指でつり下げ用アタッチメントの根元をしっかり抑える。



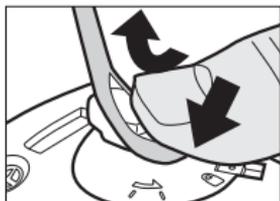
3. 右手でつり下げ用アタッチメントを持って、ひっぱり持ち上げながらフックへはめ込む。



4. 完全にフックに入っているかを確認するためにつり下げ用アタッチメントを左右に動かしてから黒球の裏側に来る位置に合わせる。

## 使いかた.2 つり下げ用アタッチメント(つづき)

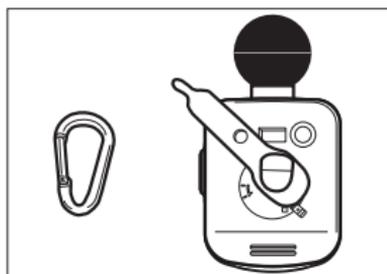
### つり下げ用アタッチメントの取り外し方法



つり下げ用アタッチメントが付いている電池フタのフックを親指で抑え、つり下げ用アタッチメントを上側(矢印方向)に引っ張って外す。

## 使いかた.3 カラビナの取り付け方法

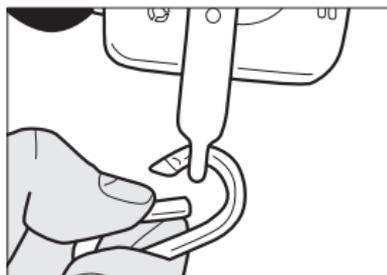
つり下げ用アタッチメントを電池フタのフックに取り付けてからカラビナを取り付けます。



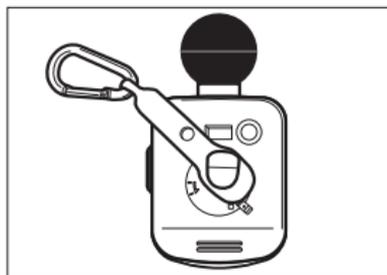
1. つり下げ用アタッチメントを電池フタのフックに取り付けた状態でカラビナを用意する。



2. カラビナを開ける。



3. カラビナをつり下げ用アタッチメントの取り付け穴に通す。



4. カラビナ取り付け終了。

カラビナを取り付け終わったら、ズボンのベルト通しなどにつり下げて使用してください。

## 使いかた.4 使用方法

### 取り扱い、保管について

|   |  |
|---|--|
| <br>禁止   | <ul style="list-style-type: none"><li>● 高温 (気温 60.0℃を超える) になる場所 (密閉された車内など)、ストーブなどの暖房器具の近くでは使用しない<br/>→ 本器の使用温度範囲は -10.0℃～ 60.0℃です。範囲を超えて使用した場合は表示が見えなくなったり、故障のおそれがあります。</li></ul>   |
| <br>必ず守る | <ul style="list-style-type: none"><li>● 電源を入れて表示値が安定するまで10分以上お待ちください</li><li>● 地面から高さ 90cm (腰)～ 150cm で使用してください<br/>→ 90cm よりも低すぎたり、150cm よりも高すぎると、WBGT の誤差が大きくなるおそれがあります。</li></ul> |

### お知らせ

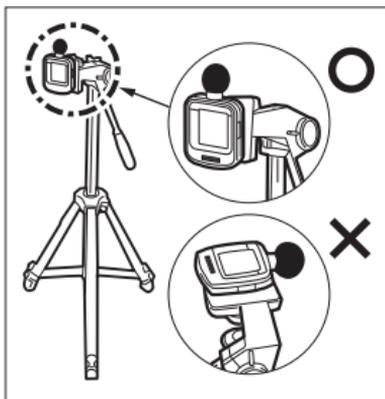
- つり下げ式のため置いた状態で使用できません。
- 風速が0.3m/s未満、または3m/sを超えると正しく測定できないおそれがあります。
- 特に冬場、身に付けた場合、つり下げ位置によっては体温の影響で気温 (TEMP) が周囲の気温より高く表示されるおそれがあります。
- 三脚などを使う場合、十分な強度のあるものにしっかりと固定してください  
→ 転倒などによる、けがや故障のおそれがあります。



## 使いかた.4 使用方法(つづき)



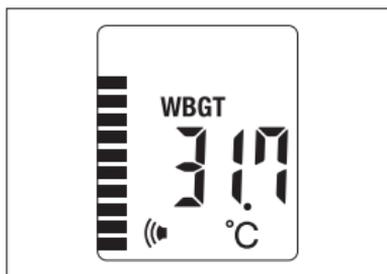
- 3.三脚に取り付けて使用する  
場合  
電池フタを三脚取り付け用  
電池フタに交換して三脚に  
取り付ける。



### お知らせ

- 三脚への取り付け姿勢は黒球が上になるようにセットしてください。  
→黒球が横向き(表示面が上)になっていると「気温」などが通常より高くなり正確にWBGTが測れません。
- 三脚は付属していません。
- 三脚に取り付けるときは三脚の取扱説明書をお読みください。
- 三脚取り付け用電池フタのめねじは呼び1/4を用いています。

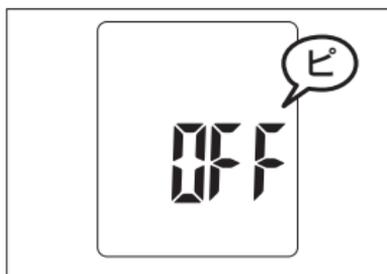
## 電源を切る方法



1. 電源ON/OFFボタンを約2秒間長押しする。

### お知らせ

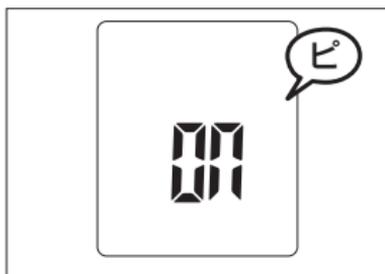
- 電源を切った場合、アラームは鳴りません



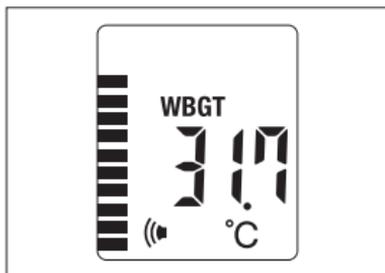
2. 電源が切れます。

## 使いかた.4 使用方法(つづき)

### 電源を入れる方法



- 1.電源ON/OFFボタンを約2秒間長押しする。



- 2.電源が入ります。

# 故障かな？

|                       |   |
|-----------------------|---|
| ☑マークが点灯した             | 電池が消耗しています。速やかに新しい電池(CR2032)と交換してください。(本書P.14~P.16参照)   |
| 黒球温度(Tg)以外「----」表示が出た | 電池を入れ直してください。症状が改善されない場合は速やかに新しい電池と交換してください。(本書P.14~P.16参照)   |
| 電池を入れたのに何も表示しない       | 電池の向きはあっていますか？<br>電池の⊕⊖の向きをお確かめください。<br>(本書P.14~P.16参照)   |
|                       | 電池が消耗しています。速やかに新しい電池(CR2032)と交換してください。<br>(本書P.14~P.16参照)   |
| アラーム音を小さくしたい。または消したい。 | 危険レベル以外では、アラーム音量を「小」または「無」に切り替えできます。<br>(本書P.19参照)  |
| 注意レベルバー表示が消えない        | 日常生活における熱中症予防指針の注意レベルバーはWBGTが22.0℃未満のときも常に表示します。  |
| アラームが鳴らない。または小さい。     | アラーム音量を「無」にしていると危険レベル以外は鳴りません。(本書P.19参照)<br>電池が消耗している場合がありますので、速やかに新しい電池(CR2032)と交換してください。(本書P.14~P.16参照)<br>粉塵、ほこりや水が入り込んでいるおそれがあるので吸い取るなど掃除をしてください。 |
| 電源を消したい               | 電源ON/OFFボタンを約2秒間長押しすると電源OFFできます。<br>(本書P.31参照)  |

使いかた

必要なとき

# 故障かな？(つづき)

|                     |   |
|---------------------|---|
| 「Lo」「Hi」表示になった      | 測定範囲外では「Lo」「Hi」の表示になります。<br>(本書P.23～P.24参照)   |
| 表示される気温(TEMP)が高く感じる | 身に付けた場合、つり下げ位置によっては、体温の影響で気温(TEMP)が周囲の気温より高く表示されるおそれがあります。  |
| 表示される測定値が変化する       | 通気口部分を手でふさいだ場合、体温や湿度を拾い測定値が変わるおそれがあります。<br>(本書P.3参照)  |
| 相対湿度(RH)が高いあるいは低い   | 保存環境を超える高温、低温、高湿、低湿で長時間の使用、保管すると、正確な測定ができなくなるおそれがあります。<br>▶ 保存環境を超えた状態で長時間置かれた場合は、十分換気がされた、保存が可能な環境に移動して、12～24時間程度放置してから使用してください。<br>高濃度の揮発性有機化合物、酸、アルカリ、腐食性ガス、還元性ガス、シリコーン、スプレーなど強いにおいのある環境下で使用や保管した場合、故障のおそれがあります。<br>(本書P.10参照) |
| 電池の消耗が速い            | お客様の使用環境条件により、電池寿命が短くなることがあります。<br>・アラーム(危険レベル)が鳴る回数が多い場合   |

# 仕様

|                      |                                  |  |
|----------------------|----------------------------------|--|
| 日常生活における<br>熱中症予防指針  | 4段階12レベル<br>(「注意」「警戒」「嚴重警戒」「危険」) |  |
| インフルエンザ注意            | 2段階(「注意」「警戒」)                    |  |
| 規 格                  | JIS B 7922:2023 準拠               |  |
| 精 度 区 分              | クラス2                             |  |
| WBGT                 | 測定範囲                             | 0.0~50.0℃ 0.1℃単位<br>(0.0℃未満は $L_0$ 表示、<br>50.0℃を超えると $H$ 表示)     |
|                      | 精 度                              | 15.0~40.0℃ ±2.0℃   |
| 気 温<br>(TEMP)        | 測定範囲                             | -10.0~60.0℃ 0.1℃単位<br>(-10.0℃未満は $L_0$ 表示、<br>60.0℃を超えると $H$ 表示) |
|                      | 精 度                              | -10.0~60.0℃ ±1.0℃  |
| 相対湿度<br>(RH)         | 測定範囲                             | 0.0~100.0% 0.1%単位  |
|                      | 精 度                              | 30.0~90.0% ±3.0%<br>それ以外は ±5.0%                                  |
| 黒球温度<br>(Tg)         | 測定範囲                             | 0.0~60.0℃ 0.1℃単位<br>(0.0℃未満は $L_0$ 表示、<br>60.0℃を超えると $H$ 表示)     |
|                      | 精 度                              | 0.0~60.0℃ ±1.0℃  |
| WBGT・気温・<br>相対湿度測定間隔 | 約30秒に1回                          |  |
| 使用範囲                 | 気 温                              | -10.0~60.0℃  |
|                      | 相対湿度                             | 0.0~100.0%   |
|                      | 風 速                              | 0.3~3m/s   |
| 保存環境                 | 気 温                              | 5.0~60.0℃  |
|                      | 相対湿度                             | 20.0~80.0%(結露なきこと)   |

必要とき

# 仕様(つづき)

|           |             |   |
|-----------|-------------|---|
| アラーム      | アラーム<br>時 間 | 最長約15秒(各注意レベルで音の<br>鳴り方が異なります。)   |
|           | 音 量         | 3段階:75dB(大)、65dB(小)、無   |
| 防じん防水保護等級 |             | IP65 <sup>(注)</sup>   |
| 電 源       |             | 3VDC CR2032コイン形<br>リチウム電池×1個  |
| 電 池 寿 命   |             | 約8カ月(1日4時間使用時)  |
| 寸 法       |             | 約 幅60×高さ112×奥行33mm  |
| 質 量       |             | 約79g(電池、つり下げ用アタッチメン<br>ト、カラビナ含む)  |
| 主 な 材 質   |             | 耐熱ABS、PMMA  |
| 付 属 品     |             | 取扱説明書(保証書付)、<br>つり下げ用アタッチメント、カラビナ、<br>三脚取り付け用電池フタ、<br>お試用電池:CR2032コイン形<br>リチウム電池、保管用袋(本体梱包) |

(注)IP65とは「粉じんが内部に侵入するのを完全に防止するもの」「あらゆる方向からの噴流水を受けても有害な影響がないもの」というJIS C 0920の規格です。

※使用しないときはガスなどの影響を防ぐため、付属の保管袋に入れて保管してください。

※デザインおよび仕様は予告なく変更することがあります。

※本器の破棄について

お住まいの市区町村の定めに従って、電池を外してから処分してください。

廃棄について不明な点がある場合は、お近くの自治体にご相談ください。  
小型家電リサイクル法に基づき、お住まいの市区町村または、認定事業者による回収にご協力ください。

- ・日常生活における熱中症予防指針は日本生気象学会「日常生活における熱中症予防指針Ver.4」(2022)から引用しています。
- ・インフルエンザ対策の目安は庄司眞,片山弘毅「季節性インフルエンザの流行と絶対湿度.臨牀と研究,vol.86,No.11,109(1517)-119(1527),2009.」の本文から引用しています。

# アフターサービスについて

## 1、保証書について

保証内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。なお、販売店によるお買い上げ日の記入に代替して、購入証明書(購入時のレシートなど)はお買い上げ日を証明するものになりますので、保証書とあわせて大切に保管してください。

保証期間は、お買い上げ日より1年です。

## 2、修理を依頼されるとき

- ・保証期間中は、弊社お客様サービス相談室へお電話にてご連絡のうえ、本器と保証書をお送りください。保証書にお買い上げ日の記入が無い場合は、お買い上げ日を証明できる購入証明書(購入時のレシートなど)をあわせてお送りください。
- ・保証期間が過ぎているときは、弊社お客様サービス相談室にご相談ください。修理によって本器の機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

## 3、ご不明な点は弊社お客様サービス相談室にお問い合わせください。

### 〈無料修理規程〉

- 1、取扱説明書等の注意書きに従った正常な使用状態で保証期間内に故障した場合には無料修理をさせていただきます。
- 2、保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合には、弊社お客様サービス相談室にご連絡のうえ、本器と保証書をお送りください。保証書にお買い上げ日の記入が無い場合は、購入証明書もあわせてお送りください。
- 3、ご贈答品等で保証書に必要な事項が記入されていない場合には、弊社お客様サービス相談室へご相談ください。
- 4、保証期間内でも次の場合には、有料修理になります。
  - イ、使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
  - ロ、お買い上げ後の落下などによる故障および損傷
  - ハ、付属品、消耗品の故障および交換
  - ニ、火災、地震、水害、落雷、ガス害、塩害その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷
  - ホ、保証書の提示がない場合
  - ヘ、保証書などでお買い上げの年月日、お客様名、販売店名を証明できない場合、あるいは誤った情報が提示された場合
- 5、保証書は、日本国内においてのみ有効です。
- 6、保証書は、再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。

※保証書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間が過ぎている場合の修理について弊社お客様サービス相談室にお問い合わせください。

# MEMO

# 保証書

販売店様へ

ご購入時に貴店にて、保証書の所定事項(お買い上げ日、販売店様欄に捺印)をご記入のうえ、お客様にお渡しください。

お客様へ

本保証書は、無料修理規程により無料修理をお約束するものです。お買い上げの日から下記保証期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、弊社お客様サービス相談室に修理をご依頼ください。

※本保証書にお買い上げ日の記入が無い場合は、購入証明書もあわせてご提示ください。

※お客様の個人情報は、修理完了品の発送にのみ使用させていただきます。この間、お客様の個人情報は、第三者が不当に触れることのないよう、弊社規程に基づき、責任を持って管理いたします。

|        |   |     |   |   |
|--------|---|-----|---|---|
| 品名     | 黒球式熱中症指数計(季節性インフルエンザ注意機能付)<br>熱中アラーム TC-300 |     |   |   |
| 保証期間   | 本体 お買い上げ日より1年                               |     |   |   |
| お買い上げ日 | 年   | 月   | 日 |   |
| お客様    | お名前   |     |   | 様 |
|        | ご住所   |     |   |   |
|        | お電話   | ( ) |   |   |
| 販売店    | 店名・所在地                                      |     |   |   |
|        | 電話  | ( ) |   |   |

株式会社 **TANITA**

本社・お客様サービス相談室 〒174-8630 東京都板橋区前野町1-14-2

ホームページアドレス <https://www.tanita.co.jp/>

お問い合わせ先

フリー  
ダイヤル



**0120-133821**

携帯電話からはフリーダイヤルにつながりません。  
携帯電話からのお問い合わせはナビダイヤルをご利用ください。

ナビ  
ダイヤル



**0570-783551**

通話料はお客様負担となりますのでご了承ください。

受付時間 / 9:00～18:00(祝日を除く月～金)

タニタ サービスセンター 〒014-0113 秋田県大仙市堀見内字下田茂木添28-1